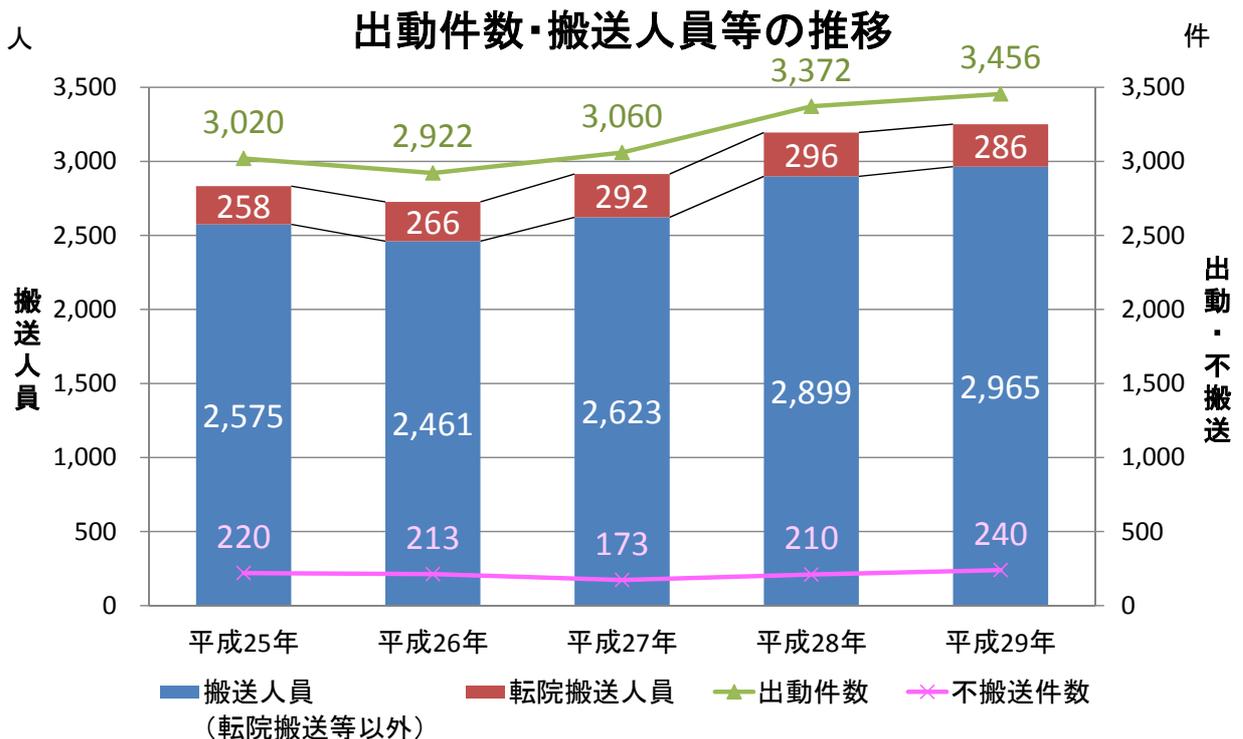


加賀市の救急搬送等の状況

概況

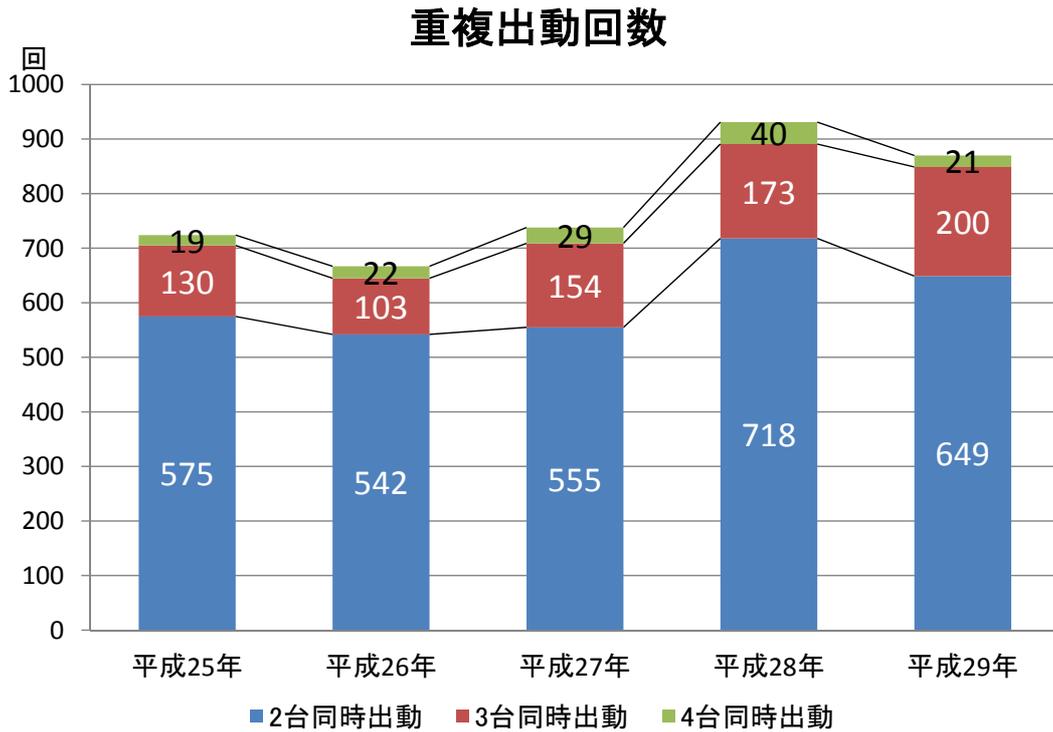
(『平成29年 火災・救急・救助統計』(加賀市消防本部)より)

図表1 救急隊の出動・搬送等の推移 (直近5年間)



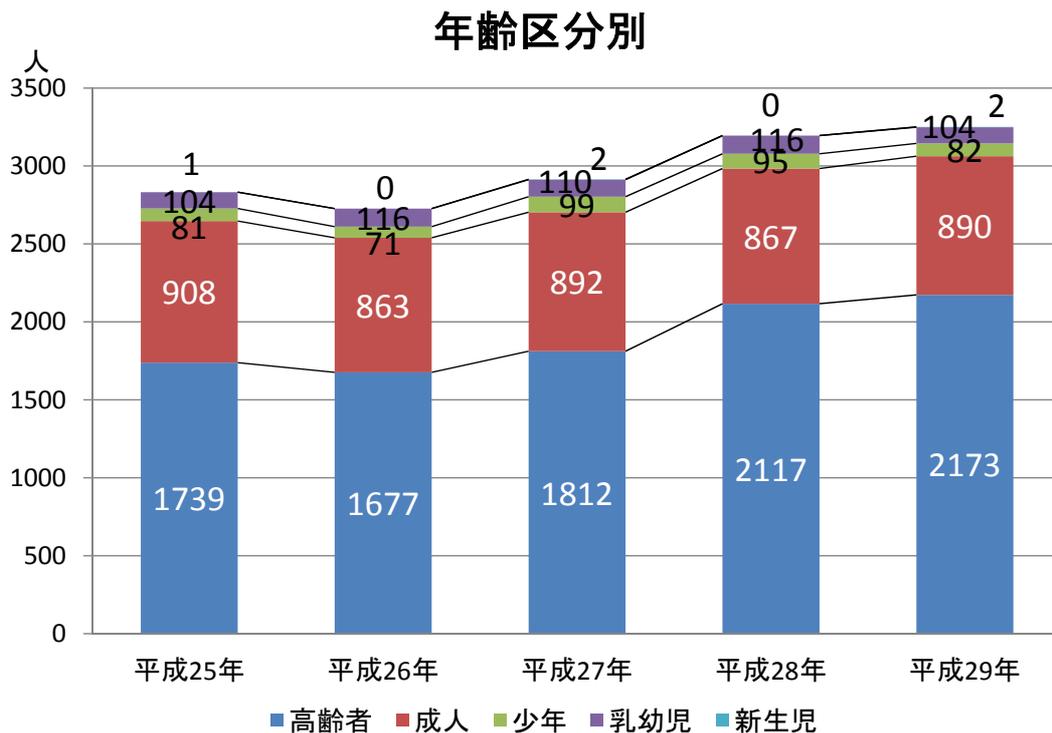
- ・搬送人員は増加傾向が継続
- ・平成27年と28年で約10%増加したが、28年と29年とでは2.3%と増加幅は縮小

図表2 重複出動回数 (直近5年間)



・重複出動回数は減少したが、H27以前と比べ多い状況が継続

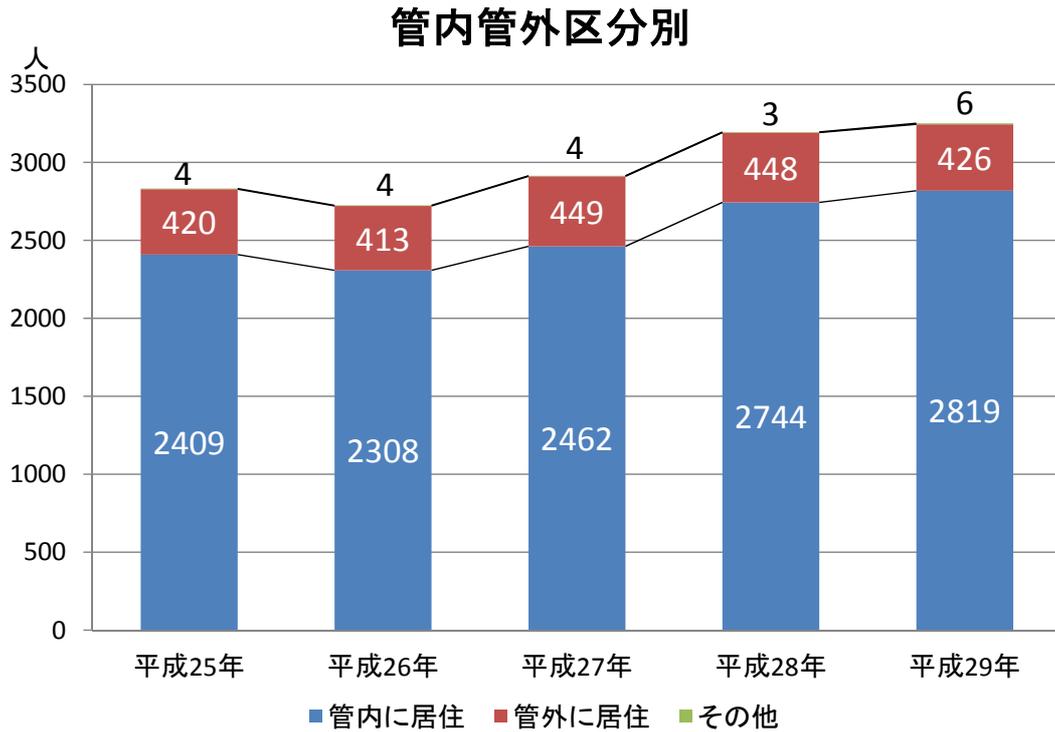
図表3 年齢区分別搬送人員 (直近5年間)



新生児	生後28日未満
乳幼児	生後28日以上 7歳未満
少年	7歳以上 18歳未満
成人	18歳以上 65歳未満
高齢者	65歳以上

・高齢者及び成人の搬送数が前年と比べ増加

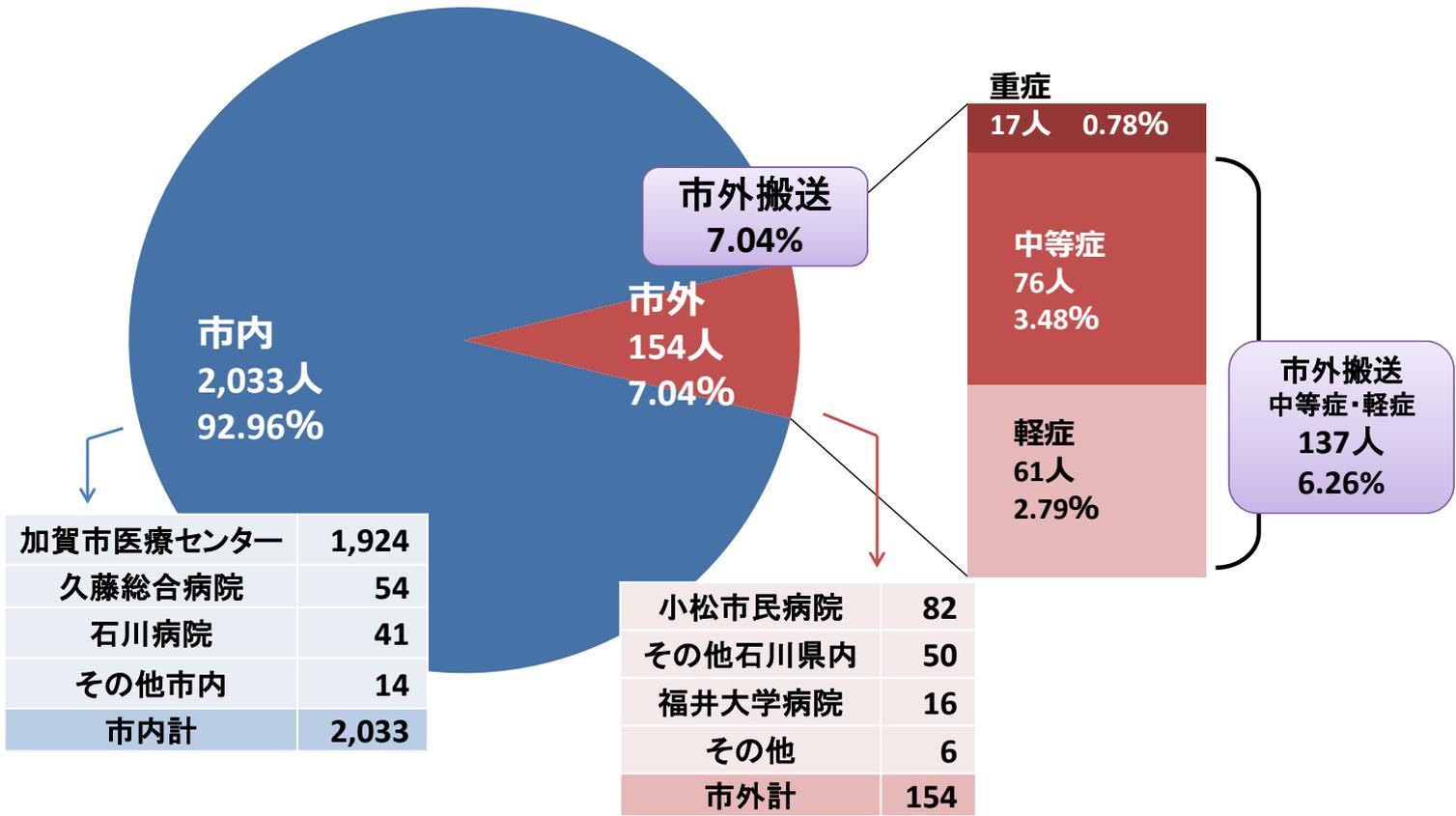
図表4 管内管外区分別搬送人員 (直近5年間)



・観光客等の搬送数に大きな変化がなく、搬送数増加の要因は市内居住者の搬送の増加によるもの

加賀市医療センター開院後の傾向等

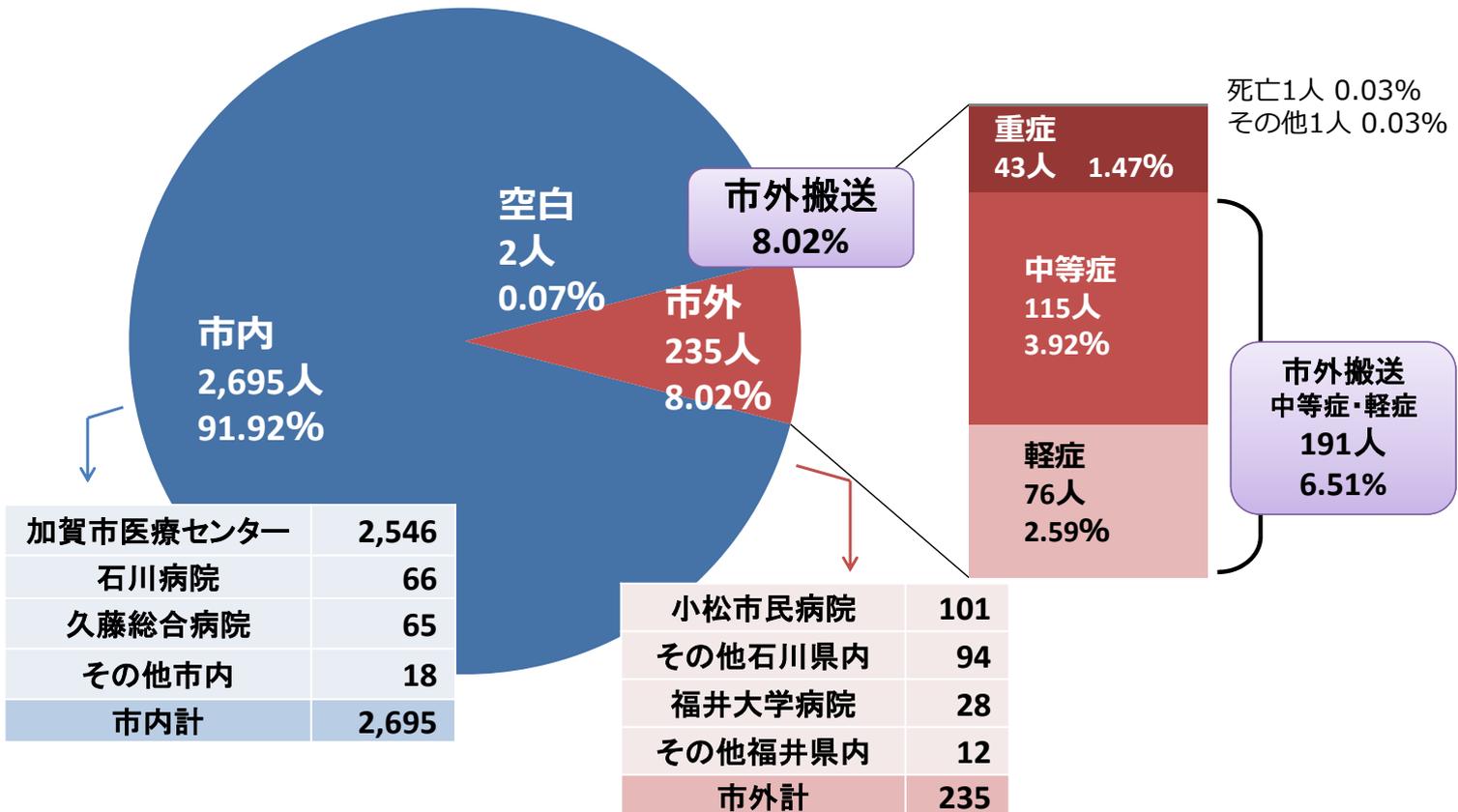
図表5 市外搬送_傷病程度別
(平成28年4月~12月)



平成28年4月~12月 転院搬送を除く救急搬送2,187人の内訳

データ:加賀市消防

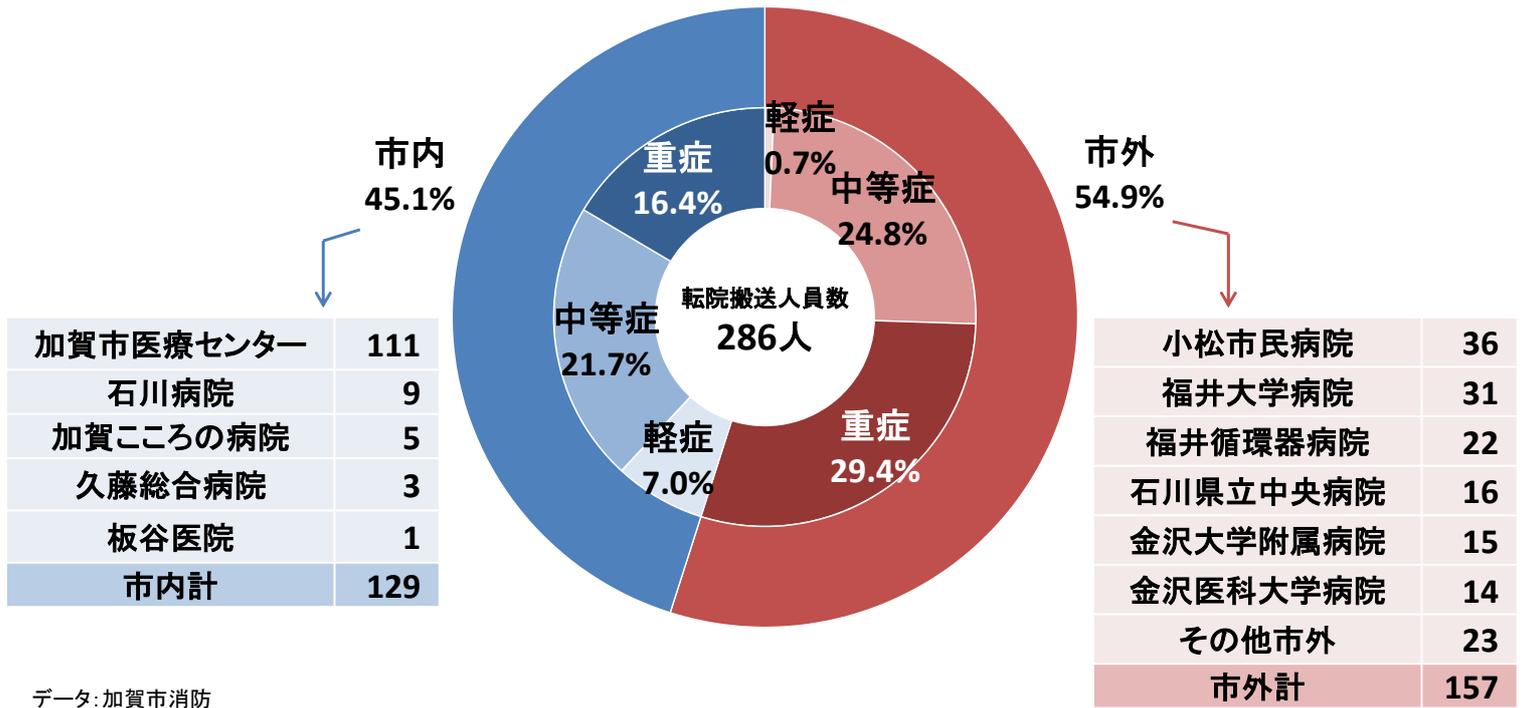
図表6 市外搬送_傷病程度別
(平成29年1月~12月)



平成29年 転院搬送を除く救急搬送2,932人の内訳

データ:加賀市消防

図表7 転院搬送_傷病程度別 (平成29年1月~12月)



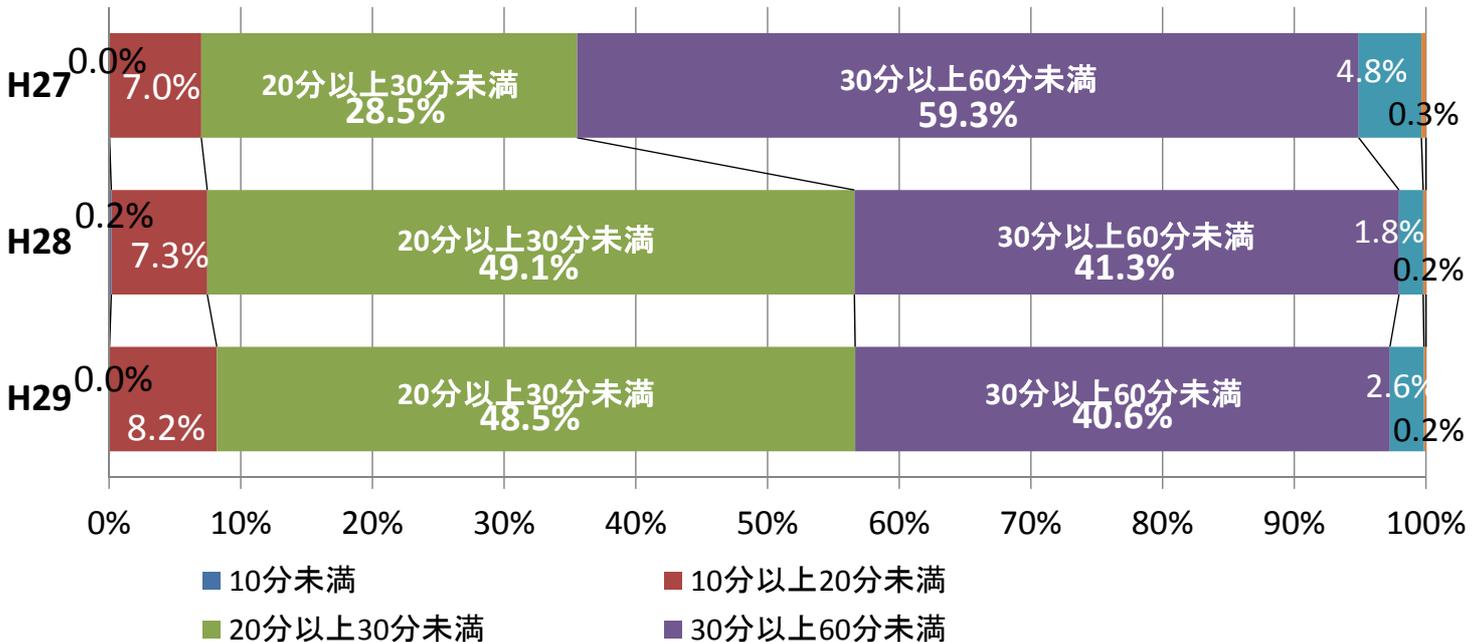
データ: 加賀市消防

- ・転院搬送の38%は加賀市医療センターへの搬送
- ・市外の高次医療機関への転院搬送は、小松市民病院に次いで福井県の2病院が多い

図表8 収容所要時間の比較

(H27、H29は1月~12月 H28のみ4月~12月) ※加賀市医療センター開院後の状況を見るため

所要時間別の割合

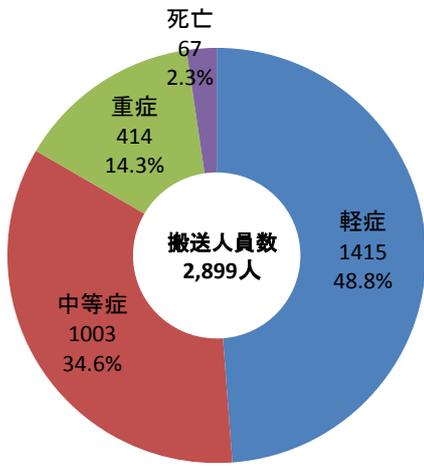


『平成29年 火災・救急・救助統計』(加賀市消防本部)より

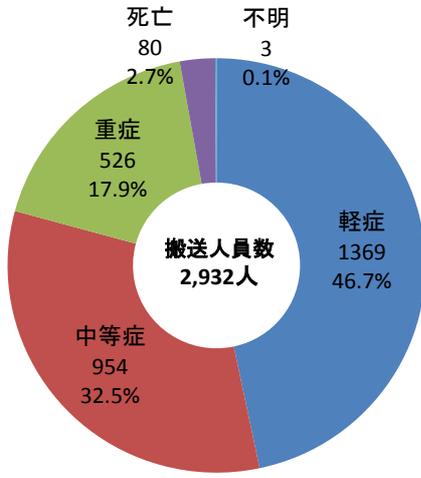
- ・平成27年は、収容まで30分以上を要するものが6割を超えていた
- ・加賀市医療センター開院後、30分未満で収容されたものが5割を超えている状況が継続

図表9 傷病程度別 (平成28年、29年)

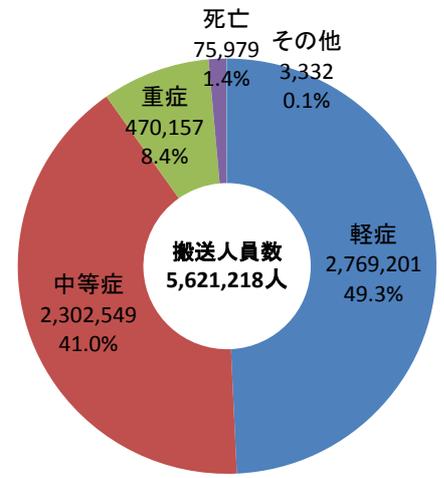
平成28年(1月～12月)



平成29年(1月～12月)



【参考】全国の状況(平成28年)



データ: 加賀市消防

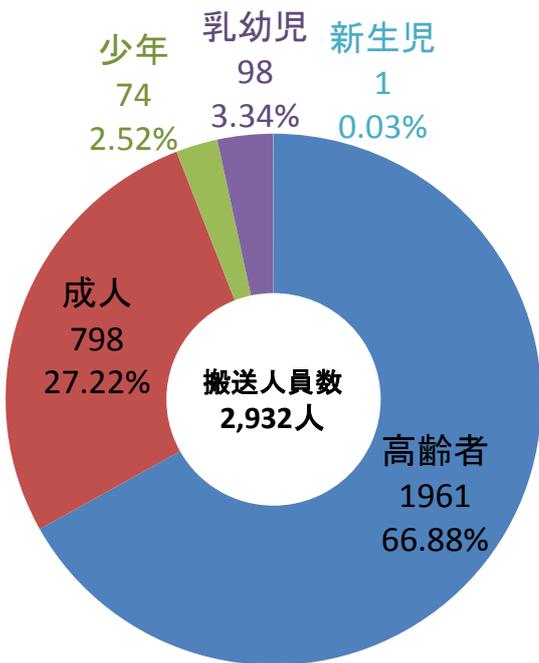
転院搬送を除く

出典: 「平成29年版 救急・救助の現況」
(消防庁)

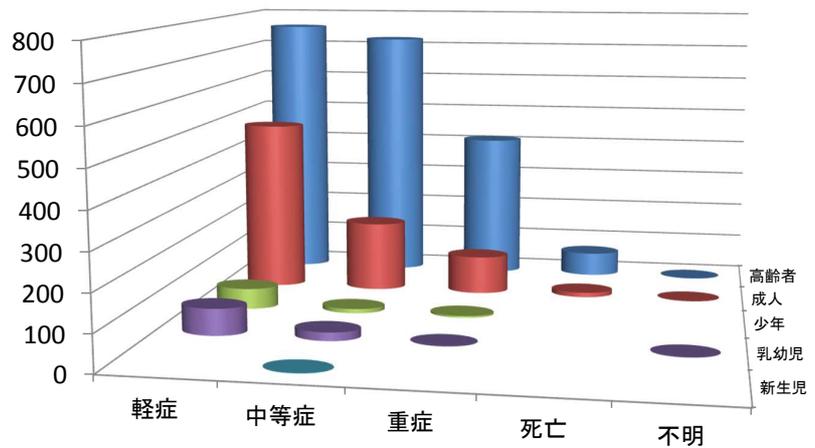
- ・平成28年と比べ、29年は軽症・中等症が減り、重症が大幅に増加した
- ・全国と比較して、重症が多い

図表10 年齢区分別_傷病程度別 (平成29年1月～12月)

年齢区分別 割合



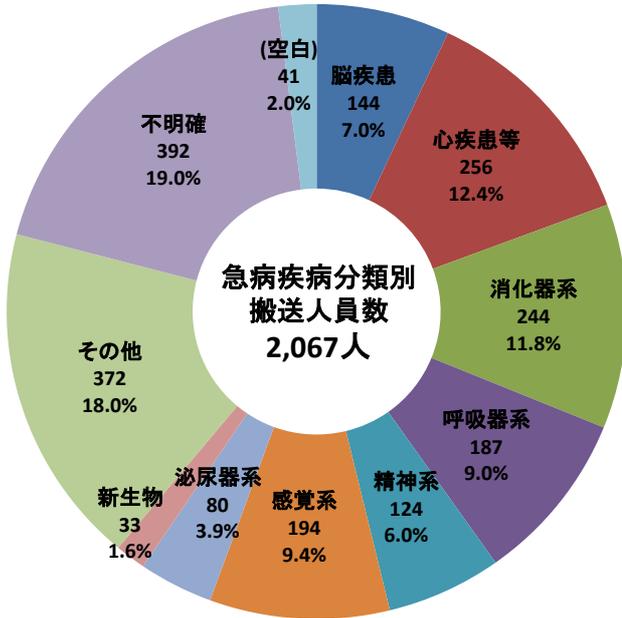
年齢区分別_傷病程度別 人数



	軽症	中等症	重症	死亡	不明
■ 新生児		1			
■ 乳幼児	73	23	1		1
■ 少年	57	12	5		
■ 成人	481	196	107	13	1
■ 高齢者	758	722	413	67	1

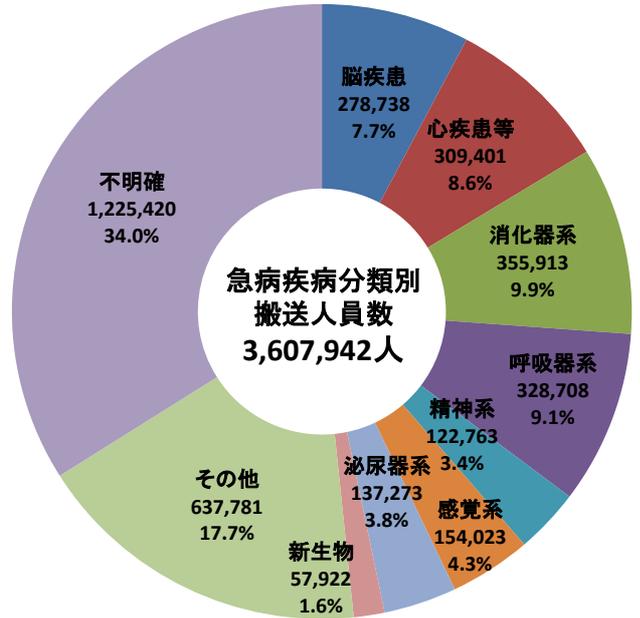
図表11 「急病」の疾病分類別搬送人員 (平成29年1月～12月)

加賀市の状況



データ:加賀市消防

【参考】全国の状況(平成28年)

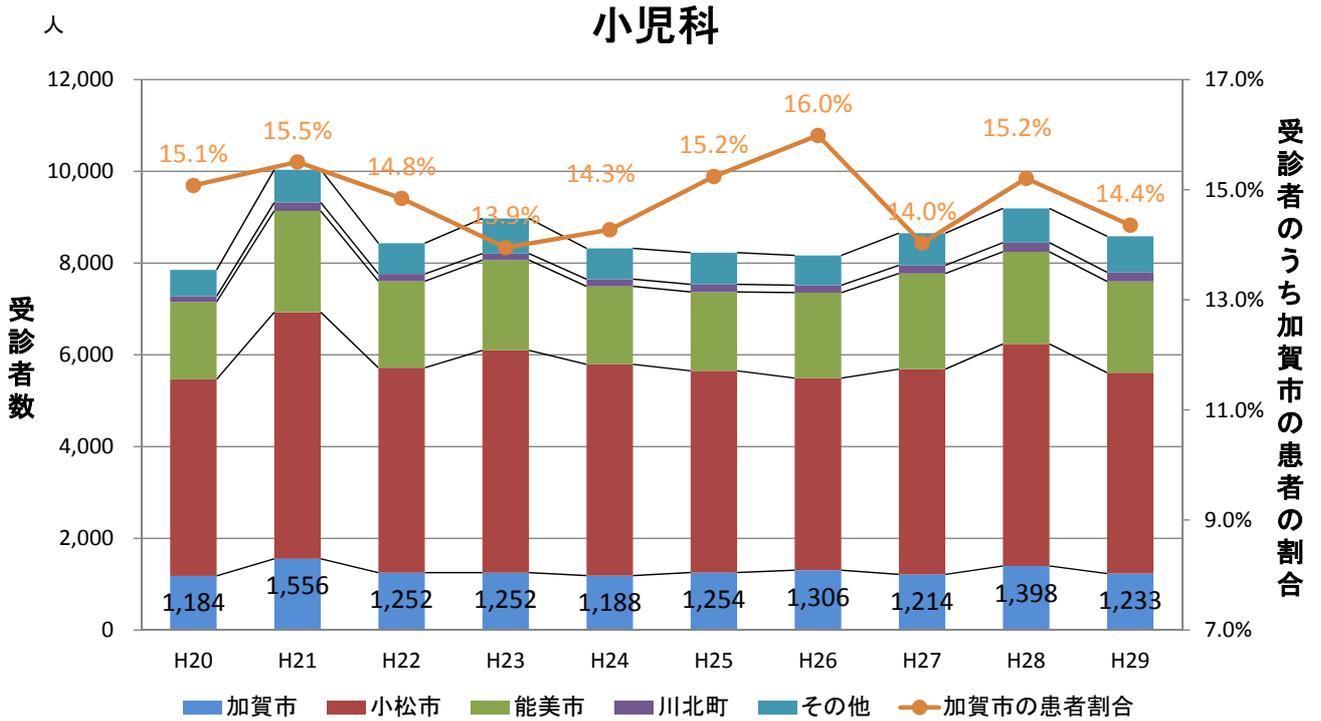


出典:「平成29年版 救急・救助の現況」
消防庁

・加賀市は、全国と比べ、心疾患、精神系、感覚系が多い

南加賀急病センターの患者状況

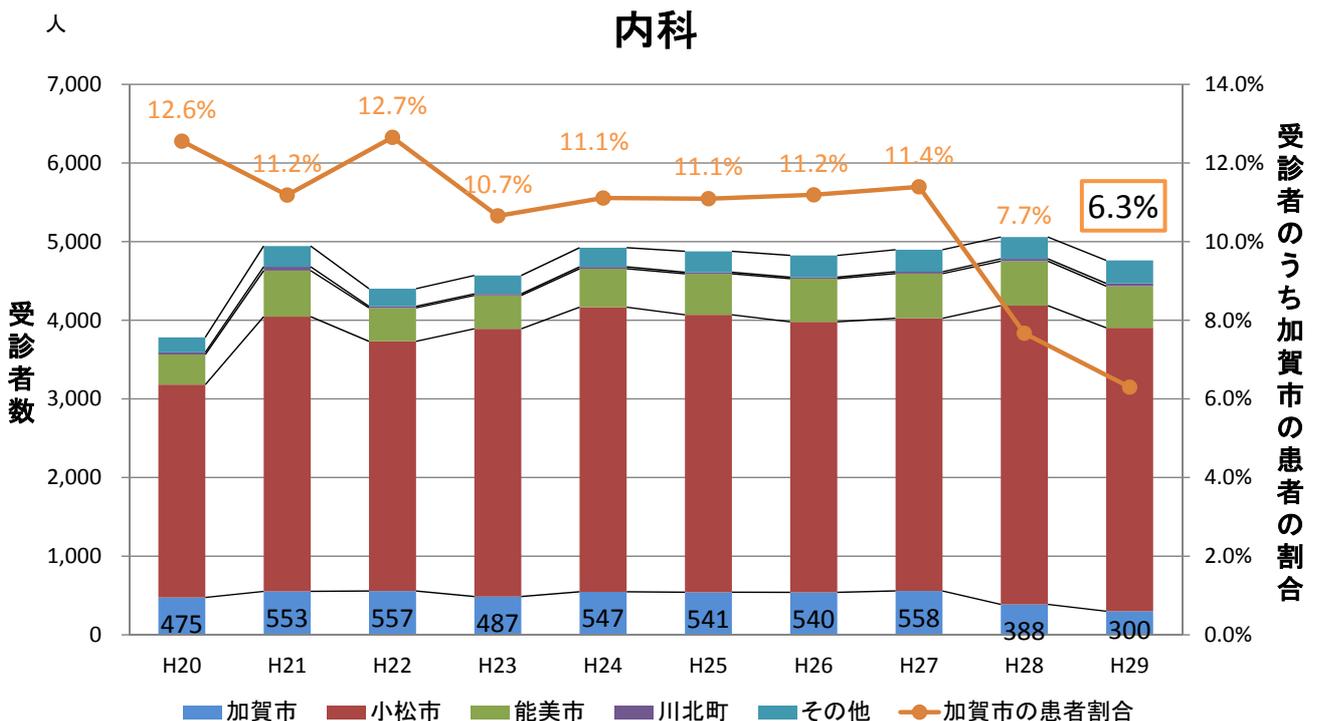
図表12 南加賀急病センターの患者状況 (年度推移・小児科)



南加賀広域圏事務組合の統計をもとに作成。平成29年度は2月までの11か月分の患者数を12か月に換算した。

・小児科は、加賀市医療センター開院後においても例年とあまり差がない

図表13 南加賀急病センターの患者状況 (年度推移・内科)



南加賀広域圏事務組合の統計をもとに作成。平成29年度は2月までの11か月分の患者数を12か月に換算した。

・内科は、加賀市医療センター開院後、加賀市の患者の減少が顕著となっている